



恋問海岸でゴミを拾い集める会員

TOPIC 4
9/10
**海岸清掃
環境美化に汗**

白糖ロータリークラブが海岸清掃

白糖ロータリークラブ（美馬俊哉会長）は「ロータリー地球環境保全プロジェクト」として、恋問海岸で清掃ボランティアを行い、環境美化に汗を流しました。同プロジェクトは、世界中のロータリアンがそれぞれの国や地域で一斉に清掃を行うものです。この日は、会員7人がゴミ袋を手にペットボトルや空き缶など、約30kgのゴミを拾い集めました。美馬会長は「今年もこれだけのゴミがあったので、来年も継続してやっていきたい」と話していました。



「今後も力添えをいただきたい」とあいさつを述べる棚野町長

TOPIC 1
8/20
現状の把握と展望を共有

ふるさと納税事業者会議

ふるさと納税のお礼の品の生産や発送に携わる事業者による「ふるさと納税事業者会議」が役場で行われ、15事業者が参加しました。会議では、町職員が寄付件数や寄付額、お礼の品への評価などを報告し「ふるさと納税制度がなくなったとしても寄付者と生産者や、都内の飲食店との取引は続くよう、つながりを構築していきたい」と述べました。また、事業者2社からはふるさと納税への参加により変化した事業内容について事例紹介がありました。

TOPIC 5
9/13
**久遠塾塾長に
向井啓暢さん**

久遠塾塾長辞令交付式

公営塾「久遠塾」の塾長として向井啓暢さん(57歳)が着任し、役場で辞令交付式が行われました。向井さんは福岡県福岡市の出身。これまで、学習塾の講師や高校の教員をしていた経験があります。前塾長の井上政史さんの後任として9月13日に着任し、令和4年3月31日までが任期となっています。向井さんは「久遠塾には、町全体で生徒を育てていくという気持ちの強さを感じました。これまでの経験を生かして、頑張りたい」と話していました。



川島眞澄教育長から辞令を受け取る向井さん（中央）

TOPIC 2
8/31
アイヌ文化と歴史を学ぶ

茶路小で「アイヌ文化出前講座」

茶路小学校（小林香織校長）では、総合学習の一環で「アイヌ文化出前講座」を行い、1～6年生までの児童生徒17人がアイヌ文化への理解を深めました。出前講座では、アイヌ文化保存会の会員3人を講師に、アイヌ語やアイヌの歌、踊りなどを学んだほか、DVDの視聴や紙芝居を通して、アイヌ文化や歴史を学びました。5年生の對木亜香さんは「歌や踊りが楽しかったです。アイヌの歴史やアイヌ料理などを知ることができて勉強になりました」と話していました。



保存会の会員と一緒に「輪踊り」を踊る児童生徒



中川さんと柴澤さんの授業を受ける生徒

TOPIC 6
9/13
**東北地方を知り
思い出に残る見学旅行に**

久遠塾スタッフによるサポート授業

白糖高等学校2年生14人が、見学旅行先の東北地方を知るため、久遠塾の中川雄貴さんと柴澤大夢さんを招いたサポート授業を行いました。中川さんは岩手県、柴澤さんは宮城県出身。授業では、おすすめの観光地やイベント、東日本大震災が身近に起こった2人の体験談などが語られました。菊地剛佑さんは「東北には中尊寺などの世界遺産もあると聞いたので、もう少し話を聞きたかったです。震災の関心も高まりました」と話していました。



10cm以上は大ガニ、9～10cm未満は中ガニとして分類

TOPIC 3
9/2
毛ガニは昨年初日の約3倍

毛ガニ・秋サケ今季初水揚げ

9月1日、秋の訪れを告げる「毛ガニかご漁」と「秋サケ定置網漁」が解禁となり、2日に初水揚げがありました。毛ガニの初日の水揚げ量は、昨年初日の約3倍となる1.8ト。一方の秋サケは昨年初日の12.7トを大きく下回る3.8トの水揚げとなりました。9月15日までの累計は、毛ガニで13.0ト（前年同日までの累計は11.9ト）秋サケは53.1ト（前年同日までの累計は154.7ト）となっています。